作成日：2026 年 1 月 21 日（第 1 版）

QST 病院で重粒子線治療を行った子宮頸癌の方へ

量子科学技術研究開発機構（QST 病院）と理化学研究所（生命医科学研究センター）では、以下の共同研究を実施しています。この研究の詳細について詳しくお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく個人情報の開示・利用停止等の手続きを希望される場合には、下欄の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

【研究の名称】子宮頸癌患者の腫瘍組織における免疫応答と予後についての研究		
①	試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	●研究の目的 この研究では、重粒子線治療を受けた子宮頸癌患者さんの予後と、患者さんから診断目的に採取された子宮頸癌組織における免疫応答との関連について評価することを目的にしています。 ●研究の対象 1995 年 6 月から 2016 年 3 月までに QST 病院で重粒子線治療を行った子宮頸癌の方を対象といたします。 ●利用（又は提供）方法 試料（組織）は、特定の個人を識別できないように加工されたプレパラートとして理化学研究所へ送付し、免疫染色による組織学的評価の解析に利用します。検査データ、診療記録などの臨床情データは、QST 病院データベース（AMIDAS）およびカルテより収集し、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないよう加工して解析に利用します。
②	利用し、又は提供する試料・情報の項目	子宮頸癌の組織標本、検査データ、診療記録
③	利用又は提供を開始する予定日及び研究期間	各研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日
④	試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	●量子科学技術研究開発機構（QST 病院長　石川　仁）
⑤	提供する試料・情報の取得の方法	通常の治療で行われる診断（生検等）で得られた試料（組織）のうち、組織標本による病理診断を行った後に残った試料の一部をこの研究に利用します。また、QST 病院データベース（AMIDAS）およびカルテより臨床データを収集します。さらに既存研究「子宮頸癌患者の腫瘍組織における免疫応答と予後についての検討(QST 研究計画書番号：17-030)」の解析結果をこの研究に利用します。この研究のために新たな検査や質問を行うことはありません。
⑥	提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究の	研究代表者：長谷川　純崇 量子科学技術研究開発機構（QST 病院）

	場合は研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称	
⑦	利用する者の範囲	●量子科学技術研究開発機構（QST 病院） 研究責任者：長谷川　純崇 ●国立研究開発法人理化学研究所（生命医科学研究センター） 研究責任者：高村　史記
⑧	試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST 病院） 理化学研究所（生命医科学研究センター）
⑨	研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	この研究の結果は、学会や学術雑誌で公表されます。 本研究の研究対象者に該当する可能性のある方（又はその代理人の方）で、情報を研究目的に利用又は提供されたくない場合、2026 年 4 月 30 日までに下記⑩の問い合わせ窓口までご連絡下さい。ただし、申し出があった時点で、既に個人情報と切り離され解析に使用されてしまった場合にはデータを取り除けない場合があります。その場合であっても、研究対象者の個人を特定できる情報が公表されることはありません。
⑩	研究対象者等の求めを受け付ける方法(問い合わせ窓口)	この研究全体の内容についてご質問がある場合やご自身の試料・情報に関するお問い合わせや、利用又は提供を希望しない場合には、量子科学技術研究開発機構 QST 病院（重粒子線治療研究部）へお問い合わせください。 ●量子科学技術研究開発機構 QST 病院（重粒子線治療研究部） 住所：千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1 電話番号：043-206-4632（平日 9：00～17：00） E メールアドレス：hasegawa.sumitaka@qst.go.jp